

- 問1 弥生時代に大陸から伝わり、武器としてではなく、祭祀や儀式の際に用いられた青銅製の釣り鐘型の道具を何という？
- 問2 九州地方で主に副葬品として使われていた、銅剣などとともに見つかる青銅の武器を何という？
- 問3 弥生時代において、祭礼や儀式を行うために用いられた道具のうち、銅鐸や銅鏡などを総称して何という？
- 問4 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？
- 問5 弥生土器の名称の由来となった、最初に見つかった場所は現在の何という地名？
- 問6 弥生時代に大陸から伝わった金属器のうち、農具や武器として実用的に使われたものを何という？
- 問7 奴国からの使節の来訪や金印の授与についての記述がある、中国の歴史書を何という？
- 問8 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見された、福岡県にある場所はどこ？
- 問9 弥生時代に導入された金属器のうち、硬度が高く、刃先などの実用的な道具として生産力の向上に貢献したものを何という？
- 問10 高床倉庫の柱に取り付けられた、ネズミが倉庫の中に侵入するのを防ぐための工夫を何という？
- 問11 稲作が普及して富や権力に差が生まれた弥生時代、地域をまとめる存在として現れたまとまりを何という？
- 問12 3世紀頃、邪馬台国を治め、中国の魏に使者を送ったとされる女王は誰？
- 問13 縄文土器と比べて薄く作られ、煮炊きに適していたのはどのような温度で焼かれたから？
- 問14 弥生時代に作られた銅剣や銅矛などの青銅器は、主に何という儀式の道具として発展した？
- 問15 銅剣や銅矛が多く出土しており、銅鐸の主な出土地帯とは異なる特徴を持つ地域はどこ？
- 問16 福岡県の志賀島で発見され、1世紀に中国の皇帝から日本の王が贈られたことを示す重要な遺物を何という？
- 問17 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？
- 問18 弥生時代に北部九州を中心に多く出土している、中国から輸入された鏡を何という？
- 問19 弥生時代に祭礼の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣り鐘状の青銅器を何という？